

セッション	C. 語彙論：語の用法 (2014.3.22 於 北京日本学研究中心)
タイトル	大規模コーパスを使用した形容詞と名詞のコロケーションの対照研究 －日中同形の漢語形容詞「単純」を例にして－
著者名(所属)	岩崎 拓也 (東北師範大学中国赴日本国留学生予備学校)
連絡先 Eメール	i.was.aki@hotmail.co.jp
<p>論文内容</p> <p>(背景および研究目的)</p> <p>日本語学や対照言語学の分野では、用例採集の手段として、コーパスを用いることが一般化してきている。日本語と中国語の文法項目の対照研究も同様で、主に『中日対訳コーパス』を用いた研究が行われているが、日本語と中国語という異なる言語内のそれぞれの単語の使われ方を吟味するには、対訳コーパスでは翻訳者によって訳に差がある場合もあるため、不適合であると考えられる。そこで、本研究では、大規模 Web コーパスを用いて、日本語と中国語のコロケーションデータを抽出し、考察する手法を提示する。</p> <p>(検討方法等)</p> <p>本研究では、日中同形の漢語形容詞「単純」を例にして検討を行った。コーパスは、スルダノヴィッチ・仁科 (2008)、スルダノヴィッチ(2013)を参考に、JpTenTen11 と zhTenTen11 という日本語と中国語の大規模 Web コーパスを使用した。Sketch Engine というコーパス検索ツールを用いて、各言語における形容詞と名詞とのコロケーションデータを抽出した。その後、上位 100 語のコロケーションを対象にして、被修飾名詞の語彙リスト・マップを作成し、見出し語の用法を提示した。</p> <p>(結果および考察)</p> <p>上記の方法で実行した結果、日本語では、「奴」「問題」「ミス」「疑問」などといった名詞が多く出現する一方、中国語では、「快乐」「梦想」「爱情」といった名詞が多く出現した。このことから、日本語の「単純」はマイナス評価を表す名詞と結びつきやすく、中国語では、プラス評価を表す名詞と結びつきやすいということが確認された。</p> <p>次に、意味的・認知的に用法を把握できるよう、抽出された名詞を分類し、グループ化して、語彙マップをスルダノヴィッチ(2013)の試案を基に作成した。日本語の「単純」は<動き><構造><物事><計算><考え><言葉><人>に関する名詞と共に使われることが多く、中国語の「单纯」は、<経済><自然><教育><政治><人>に関する名詞と共に使われることが多いことがわかった。また、それぞれの言語にしか見られない特徴的なコロケーションとして、日本語では「善悪」「勸善懲悪」、中国語では「说教(説教)」「传授(伝授)」という名詞があることがわかった。</p> <p>(結論)</p> <p>大規模 Web コーパスを使用して、日中同形語「単純」の日本語と中国語の共通点や差異を把握できることが確認された。この手法を用いた日中同形語の考察は簡単に行うことができるという利点があり、さらに、作成した語彙マップは、母語からは予想しにくいコロケーションを学習者に示す手助けになることが期待できる。</p>	
<p>参考文献</p> <p>スルダノヴィッチ・イレーナ, 仁科喜久子 (2008) 「コーパス検索ツール Sketch Engine の日本語版とその利用方法」『日本語科学』 23: 59-80</p> <p>スルダノヴィッチ・イレーナ(2013)大規模コーパスを用いた形容詞と名詞のコロケーションの記述的研究－日本語教育のための辞書作成に向けて－ 国立国語研究所論集 (NINJAL Research Papers) 6: 135-161</p> <p>Sketch Engine (http://www.sketchengine.co.uk/)</p>	